会 議 録

会議の名称	令和6年度 第1回図書館運営協議会
開催日時	令和6年9月30日(月) 午前10時～午前11時57分
開催場所	戸田市立中央図書館2階 視聴覚室
委員長等氏名	会長 石川 敬史
出席者氏名 (委員)	会長 石川 敬史 副会長 雨宮 明美 委員 若林 寛子 委員 小代 元志 委員 増渕 洋一郎 委員 茂呂 理絵
欠席者氏名(委員)	委員 小高 剛
説明のため出席した者	無
傍聴者	1名
事務局	教育委員会事務局参事 梶山 浩 生涯学習課 課課長 高屋 勝利 副主幹 小山 隆 主事補 小林 未波 司書 宮澤 ゆかり
指定管理者	中央図書館長 後藤 有功 上戸田分館長 丸山 怜依

議 題	<p>(1) 令和5年度図書館事業報告</p> <p>(2) 令和6年度図書館上半期事業報告</p> <p>(3) 第3次戸田市子どもの読書推進計画の報告</p> <p>(4) 第4次戸田市子どもの読書推進計画策定の進捗状況</p> <p>(5) その他</p>
会議結果	生涯学習課図書館担当・戸田市立中央図書館及び上戸田分館指定管理者から議題の内容について報告があり、報告事項に対して図書館運営協議会委員から意見を聴取した。
会議の経過	別添のとおり
会議資料	<p>(1) 令和6年度第1回戸田市立図書館運営協議会次第</p> <p>(2) 戸田市立図書館運営協議会委員名簿</p> <p>(3) 戸田市立図書館運営協議会事務局名簿・指定管理者出席者名簿</p> <p>(4) 令和5年度図書館事業報告(2種)</p> <p>(5) 令和6年度上半期図書館事業報告(2種)</p> <p>(6) 第3次戸田市子どもの読書活動推進計画「子どもの読書活動推進のための方策」における各関係課の該当状況(令和5年度実績)</p> <p>(7) 第4次戸田市子どもの読書活動推進計画策定の進捗状況(4種)</p> <p>その他</p> <p>令和6年度図書館要覧</p>
議事録確定	<p>令和6年10月4日</p> <p>会長氏名 石川 敬 史</p>

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>定刻となったので、令和6年度第1回図書館運営協議会を開催する。この協議会は、戸田市立図書館の円滑な運営を図るため、戸田市立図書館条例により設置するものである。</p> <p>本日の会議は、小高委員が欠席であるが、会議は成立要件となる過半数の出席を満たしている。</p>
事務局	<p>事前配布資料(資料1～資料7)の確認</p>
事務局	<p>2 委嘱状の交付</p> <p>会議に先立ち、委嘱状交付式を行う。</p> <p>今回、令和6年3月31日をもって退任された小林真喜子(まきこ)委員の後任として、戸田市立図書館おはなしボランティアから家庭教育向上に資する活動を行う方として雨宮委員を選出いただいた。</p> <p>また、市民公募委員だった大久保絹子(きぬこ)委員の後任として、新たに茂呂委員が選定された。</p> <p>いずれも任期は、令和6年4月1日より令和7年3月31日である。</p> <p>委嘱状の交付は、机上のものを各委員に確認してもらう。</p> <p>3 教育長挨拶(梶山参事による代読)</p> <p>公務の都合で参事、退席する。</p> <p>4 委員・事務局・指定管理者の紹介</p>

事務局	<p>順次自己紹介をする。</p> <p>5 会長、副会長の選任</p> <p>戸田市立図書館条例施行規則第24条により、委員の互選により決定する。</p>
委員	<p>会長には、前会長の石川委員を推薦する。</p>
出席者全員	<p>拍手</p> <p>本人の快諾を得て、石川委員の会長就任が決定する。</p>
会長	<p>私からは、おはなしボランティアとして、図書館利用者に身近な活動をされている雨宮委員を副会長に推薦したい。</p>
出席者全員	<p>拍手</p> <p>本人の快諾を得て、雨宮委員の副会長就任が決定する。</p>
事務局	<p>次第6の議事に入る。</p> <p>議事の進行については、戸田市立図書館条例施行規則第25条第2項の規定により、会長が務めることとなっているので、石川会長にお願いする。</p> <p>議事に入る前に会長、副会長から挨拶をしてもらう。</p>
会長	<p>それでは、これから議事に入るが、本日は傍聴人が1名いるため入場してもらう。</p> <p>傍聴人、入場する。</p>

<p>会長</p>	<p>議事（１）令和５年度図書館事業報告について説明をお願いします。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>議事（１）令和５年度図書館事業報告については、資料４「令和５年度図書館事業報告」を参照</p> <p>令和５年度事業報告及び新しい取り組みについては、別紙「戸田市立中央図書館活動報告」で紹介する。</p>
<p>上戸田分館長</p>	<p>議事（１）令和５年度図書館事業報告については、資料４「令和５年度図書館事業報告」を参照</p> <p>令和５年度のあたらしい取り組みについては、別紙「上戸田分館令和５年度の新しい取り組み」で紹介する。</p>
<p>会長</p>	<p>令和５年度事業報告について、意見、質問等あればお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>令和５年度は４０周年記念イベントを開催したこともあり、図書館が賑わっていたなという印象を受けた。コロナで人の少ない時期が続いていたし、普段の図書館は閑散としていたが、イベントとなるとこんなに人が集まるんだというのを久しぶりに体感できた。ボランティアとしても、久しぶりに開催した大きなイベントだったので、やりがいを感じた。チームワークも良くなり、とても良い事業に参加できた。</p>
<p>会長</p>	<p>図書館では、人を集めたり行事を企画したりする際に、何か留意点、ポイントはあるのか。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>４０周年記念イベントに関しては、利用者アンケートで要望のあ</p>

<p>上戸田分館長</p>	<p>ったイベントについて、実現を目指した。また、生涯学習課や図書館ボランティアとのミーティングの中からも自然とアイデアが生まれていった。多くの方との連携やスタッフも含めた総力を結集して作り上げたイベントだったので、良い結果になったと考えている。</p> <p>上戸田分館は、あいパルとの複合施設なので、普段からイベントの実施が多い。例えば、文字探しラリーの文字を図書館にも掲示することで、普段、図書館に来ない人にも図書館に来てもらえるよう工夫している。複合施設の利点を活かしながら集客を増やすよう取り組んでいる。</p>
<p>会長</p>	<p>令和5年度の報告で、中央図書館では「まちたんけん」や、出前講座など小学校との活動が多かったようだが、これについては高く評価できる。校長先生や学校の先生方とのつながりを築くにあたり、館長自らが出向いたり、図書館スタッフが打ち合わせをしたりしているのか。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>小学校には毎年、1回は顔を出して挨拶している。図書館に近い芦原小学校と新曽北小学校には複数回、顔を出して、校長先生や教頭先生、その他の先生とコミュニケーションをとっている。おかげで司書教諭の先生とも仲良くなり、「まちたんけん」や「出前講座」、ロビーでの絵や、レポート展示へと繋がった。</p> <p>また、新曽中学校へも足を運んでいるので、作品展示などの場に使ってもらっている。この秋にも展示の企画が出ている。</p>
<p>会長</p>	<p>上戸田分館では課題解決型学習、PBLへの協力をしているようだが、小学校との繋がりはどのような状況になっているか。</p>

上戸田分館	<p>あいパルでは戸田第一小学校の生徒が作成した自由課題や美術作品の展示を開館当初から実施している。その関係で、例えば、古着を活用してバックを作ったり、新聞を活用してエコバックを作成したりした際に、図書館にも置かせてほしいという提案があり、協力の実現に至った。</p> <p>また、今年度は戸田第一小学校の学校運営協議会の委員を拝命しているため、今後は更に先生方とのつながりを密にしていけたらと考えている。</p>
会長	<p>学校との連携は、時間をかけて積み重ねてきた信頼関係の結果が、成果として表れていると感じた。</p>
委員	<p>出前講座については、本校でも私の授業の中で依頼したいと考えている。小学校以外で実施している出前講座、例えば、埼玉県不登校支援教室では、どのような内容のものだったのか知りたい。</p>
中央図書館長	<p>こちらの学校は、対人関係が難しい生徒さんが対象だったので、一人で完結できる課題解決型の調べ学習や、ポップ作り本を紹介する体験などを実施した。</p>
委員	<p>中央図書館の事業報告で、来館者は増加しているが貸出点数が減少しているという結果について、数字に関する考察というか、原因や、利用の仕方の傾向の変化等、どう分析しているか聞きたい。</p>
中央図書館長	<p>現在、分析している最中ではあるが、1点、あげるとしたら、貸出点数の減少について児童書の落ち込みが著しい。一般書に関して</p>

副会長	<p>は増加の結果が出ている。児童書の貸出点数については、今回に限らず、年々、減少している。そのため、児童書をどうやって借りてもらうかが今後の課題である。</p> <p>中央図書館については、施設の工事で2年の休館があり、引き続き、コロナの流行で人の流れが途絶えたこともあり、それまで図書館へ通うことが習慣だった子供たちの利用が戻らなかったのではと考えている。その子供たちを図書館へ戻し、更に新たな子供たちを図書館へ向かわせるためにはどうすべきか。魅力的な本を揃えられているのか等、今後、様々な分析をする必要があるが、まずは、乳幼児とその保護者に対して、来館を促せるよう取り組んでいきたい。</p> <p>おはなしのボランティアをやっていて思うことは、40周年のような大きなイベントは盛況だが、定例のイベントについては、まだ、以前のような賑わいが戻らない状況で、参加者が0人のこともある。工事による閉館の前は、この部屋に人が入れないくらい集まっていた。今は、閲覧室に勧誘しに行っても子供の姿がないこともあり、図書館に来る子供が減っていることがよくわかる。子供をイベントに連れてきてくれる保護者の足をどうしたら図書館へ向けられるかは、私たちにとっても課題である。</p>
中央図書館長	<p>幼稚園の園長である小代委員にも、今後、いろいろとアドバイスを貰えたらと思う。</p>
会長	<p>子供たちへのサービスについては、古くて新しい視点が求められる。今も昔も変わらず意義のあるサービスである。一般書については、ビジネス支援など図書館側から新しいサービスを提案していくことができるが、乳幼児に対するサービスについては、地域の人と</p>

	<p>連携して行う部分も大きい。例えば、おはなし会の開催などは、地域の人たちに運営に参加してもらうことで成立する。図書館と地域の人たちが一緒に盛り上げていく事業である。子供と本を結びつけるための大事な活動だと考える。また、乳幼児の場合は、図書館へのアクセスも大事で、近くに気軽に行ける分室があることで、図書館の利用を促すことができる。サンダル履きで気軽に行ける小さな分室をうまく利用して、保護者の足を向けさせるのも一つの方法ではないか。乳幼児へのサービスについては、今後も検討を続けてほしい。</p>
<p>会長</p>	<p>他に意見、質問等がないようなので、議事(1)については、以上とする。</p> <p>次に、議事の(2)令和6年度図書館上半期事業報告について説明をお願いします。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>資料5「令和6年度図書館上半期事業報告」に沿って報告する。</p> <p>補足として、今年度は、乳幼児のおはなし会への参加をしやすいするため、開催時間を一部午前に移動した。結果、土曜日の参加者が増え、ニーズがあることがわかった。また、おはなしボランティア養成講座で、次回、赤ちゃんおはなし会の専門家を迎えて話を聞く予定なので、今後に活かせるようにしたい。</p> <p>更に、今までシニアへのサービスが少なかったが、40周年記念行事で実施した古民家でのおはなし会や彩湖自然学習センターの人たちによる壁掛け作りなどはシニアの参加者が非常に多かった。そのため、今年度はシニアを対象とした映画会や16ミリフィルム上映会を実施した。</p>

上戸田分館長	<p>資料5「令和6年度図書館上半期事業報告」に沿って報告する。</p> <p>補足として、上戸田分館では、未就学児のおはなし会の参加者が伸び悩んでいたため、新たな試みとして、工作会と一緒におはなし会を開催した。また、8月には「こわいおはなし会」を夕方に開催し、参加者数の増加につなげることができた。</p> <p>更に、「おうちで絵本相談」の開催を、子育てについて保健師さんに相談できるあいパルのイベントと一緒に行うことで、絵本の読み聞かせについてのお悩みについても気軽に相談できる環境を作ることができた。</p> <p>初めての試みとしては、あいパルのイベントの中で高齢者向けの紙芝居や、一緒に唱歌を歌うといったメニューを組んで、ミニおはなし会を開催したことで、講師である介護予防リーダーの方にも好評だったので、今後も継続していきたいと考えている。紙芝居の貸し出しにもつながった。</p>
会長	<p>令和5年度上半期図書館事業報告について、意見、質問等あれば願います。</p>
副会長	<p>報告の中で、シニアの方へのサービスが盛り込まれていたが、それは要望があって企画したのか。</p>
中央図書館長	<p>利用者に実施したアンケートの中で要望としてあったのと、40周年記念イベントでの成果を受けて企画した。</p>
上戸田分館長	<p>親子向けのヨガの講座の中で開催していたミニおはなし会の開催が諸事情で実施できなくなったため、別のイベントの中で開催を考えていたところ、シニア向けのイベントの中で時間がとれそうだった</p>

副会長	<p>たので開催に至った。</p> <p>戸田市は65歳以上の人が多い。おはなしボランティア養成講座には、お孫さんに何を読んだら良いかわからないため参加したという人もいた。退職して何かを始めたい人も多いと思う。シニアもいて、子供もいて、すべての年代の人が楽しめる図書館になったら良いと思う。そのため、シニアの人が学べる事業がもっとたくさんあったらと思う。</p>
会長	<p>中央図書館では、学習席をリニューアルしたと報告にあったが、運用はうまくいっているのか。運用を変えるとトラブルもあるのであるのではと思うがどうか。</p>
中央図書館長	<p>トラブルはない。現状、自習席の利用については、施設改修工事前と比較するとかなり少ない。以前は試験前になると、朝、玄関前に行列ができたと聞いているが、現在はそのようなことはない。そのため、トラブルなく運用できている。むしろ、フリーにしたり、電源を増やしたりすることで利用を促進したい狙いがあったが、思うほど利用は増えていない。</p>
会長	<p>中高生向けに進路情報に関する本を集めたという報告があったが、YA世代に対しては学習する場を提供するだけでなく、利用者と本を繋ぐ仕掛けがあると良いと考えていた。キャリアの本、自分探しの本、生き方を見つめ直す本なども、学習席の近く、身近に置く工夫があると良いと感じた。</p>
会長	<p>他に質問がなければ、議事(2)については以上とする。</p>

事務局	<p>次に議事（３）第３次戸田市子ども読書活動推進計画の報告について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>「第３次戸田市子どもの読書活動推進計画」について、資料６『第３次戸田市子どもの読書活動推進計画「子どもの読書活動推進のための方策」に沿って説明する。</p>
会長	<p>第３次戸田市子ども読書活動推進計画の報告について、意見、質問等あればお願いします。</p>
会長	<p>戸田市子ども読書活動推進計画については、図書館だけではなく戸田市全体で読書環境をどう作るか、整備するかを計画したものであるが、計画を実施していく上での推進体制の整備について、他の部署とどのように連携して進めていくのかなど、そのあたりの説明が欠けていたので教えてほしい。</p> <p>また、本好きサポーター(図書整理員)について、学校図書館法で規定されている学校司書に変えていくことが必要だと考えるが、その点についてどう考えているかを聞きたい。</p>
事務局	<p>戸田市子ども読書活動推進計画の推進体制について</p> <p>この後説明する第４次戸田市子ども読書活動推進計画の策定委員会については、各課の課長クラスで構成されているが、その下に課長より一つ下の主幹、副主幹で組織された、具体的な施策の取り組みに係る委員会がある。資料６については、主幹、副主幹クラスで作られた委員会で取り組んだ内容について報告したものであり、戸田市における推進計画の実施については、この委員会が担っている。</p> <p>本好きサポーターの位置づけについて</p>

<p>会長</p>	<p>第3次の計画の中では、本好きサポーターについてハッキリとした位置づけがないため、次の計画の中で、学校とも相談して、本好きサポーターと図書館を繋げられないかを検討している。</p> <p>小中学生の読書環境については、家庭だけでなく子供たちにとって身近な学校図書館にもあり、その環境整備は重要である。そこにいる本好きサポーターの位置づけは非常に大切だと考えるため質問させてもらった。</p>
<p>副会長</p>	<p>ボランティア活動で学校へ行くので、本好きサポーターから話を聞く機会も多い。私が把握している内容としては、仕事内容は学校ごとに違うようだ。また、週に2～3日、一日2～3時間程度しか出勤時間がない中で業務をしているため、図書室の整理をするだけで精一杯というのが現状である。もし、この状況で図書館との連携を課したら、更に業務が増える。司書資格をもっていない人もいるので、そのあたりも考慮して計画を立ててほしい。</p> <p>現状だと、子供たちが図書室を利用する時間帯に本好きサポーターがいないことも多い。子供たちと本を繋げてくれる人が、常時、図書室にいない中で、それに代わる人が他に学校の中にいるのだろうかという疑問に思うことがある。本好きサポーターが常に図書室にいられる環境を整えてもらいたい。</p> <p>また、中学校の本好きサポーターからは、中学生向けの図書やサービスについては、児童サービスとは違うので、もっと勉強したいといった話も聞く。</p> <p>そういう話を聞くと、本好きサポーターの制度はあるが、それを十分に活かせていないのではと感じる。本好きサポーターが司書資格なしでもできるのは、今も変わらないのか。</p>

事務局	<p>学校のことは詳しくは把握していないので、この場では即答できない。</p>
副会長	<p>少し前の募集では、司書資格がなくても応募できるとあったので、配置される学校によっては本の整理しかできない人もいて、本好きサポーターの能力の差が出るのではと思う。本好きサポーターをしっかり活用できる運用にしてほしい。</p>
事務局	<p>話を聞いて、今後、本好きサポーターの活用について、学校と相談するときに、こういった姿勢でいけばよいのか、概ね把握することができた。この貴重な意見を活かせるよう考えていく。</p>
副会長	<p>やはり、常時、図書室にいるようにするのは難しいのか。</p>
事務局	<p>学校の方針もあるし、運用については各学校に任せているので、図書館担当ではそれについては把握していない。</p>
副会長	<p>運用については改善されたこともあるらしい。例えば、最近は、一つの学校に長くいられるようになった。以前は、定期的に配置換えがあり、一通り整備が終わると別の学校に行くことになっていた。それが良いことかはわからない。もしかしたらデメリットもあるかもしれないが、その点は改善されたと聞いている。せめて、子供たちが図書室にいる間は常にいてくれると良い。その点だけでも改善されるといい。</p>
事務局	<p>補足として、本好きサポーターについては、現状、週3日程度の</p>

委員	<p>勤務としている。また、各学校に司書教諭はいるが、図書室に常駐する専門の司書ではなく兼任というのが現状である。司書教諭には教員としての仕事もあり、図書室に常駐することは難しいため、本好きサポーターに業務のサポートを依頼しているところだが、こちらも週3日3時間程度の勤務なので、できることが限られている。</p> <p>学校の現場にいたので現状については把握している。本好きサポーターの活用については、各学校の管理職と司書教諭の熱意で差が出ている。但し、勤務時間が短いので、本の整理をしたり、図書室の環境を整えてもらったりすると、それだけで時間になってしまい、人の活用にまで至らない。本好きサポーターを頼って、みんなで何かをするという活用の仕方ができないのが現状である。勤務時間や人員の確保となると金銭面での課題もあると思うので、その分、ボランティアを活用するのも一つの方法かなと考える。</p>
副会長	<p>私たちも、読み聞かせのボランティアで学校に行った際には、本の整理を手伝ったりしているが、すべての学校に手伝える人がいるわけではない。折角、司書資格を持っている本好きサポーターがいるのに、資格を活かせる業務ができないのは残念だと思う。改善を望む。</p>
会長	<p>本好きサポーターの勤務時間が少ないことは把握していなかった。今の話で、人の配置も含めて、学校図書館の整備や充実については、非常に重要な課題であることがわかった。</p>
会長	<p>次の議事とも関係あるが、私から1つ質問ある。第4次の計画でも計画の進捗については図書館がコントロールしていく体制はでき</p>

事務局	<p>ているのか。</p> <p>毎年、各課で実施している取り組みについては、図書館が経過の報告を聴取している。そこで、達成できていない取り組みがあれば、力を入れるよう提案するなど、計画の実施については図書館が全体を管理する体制は整っている。</p>
会長	<p>計画を立てることが目的になり、そのままになってしまうこともあるため、その点が危惧されたので質問した。計画を立てた後も、市内全体で取り組む体制ができているかを確認したかった。</p>
会長	<p>他に意見等ないので、議事(3)については以上とする。</p> <p>次に議事(4)「第4次戸田市子どもの読書活動推進計画策定の進捗状況」について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料7「第4次戸田市子どもの読書活動推進計画策定の進捗状況」(4種あり)に沿って説明</p>
会長	<p>「第4次戸田市子どもの読書活動推進計画策定の進捗状況」について、意見、質問等あればお願いします。</p>
副会長	<p>アンケート結果を踏まえ、幼稚園・保育園、小学校で読み聞かせをしてほしいという意見が出ている件について。図書館が取りまとめて、ボランティアを派遣するというネットワークを作してほしい。私個人で読み聞かせを頼まれることはあるが、すべての声に応えるには限界がある。市立の保育園には市がおはなしボランティアを派遣しているが、私立の保育園は個々で実施しているし、やっていな</p>

	<p>いところもある。どんな本を読んだらいいかわからないという悩みを抱えている保育園もある。図書館には、養成講座を受講したボランティアがそろっているので、アドバイスができるが、個人でやっていると、すべての保育園を網羅できない。図書館が依頼を受けて派遣先を取りまとめてくれたら、更に多くの場所でおはなし会を開催する機会を作ることができる。また、現状では学校ごとにバラバラに行っている朝読のボランティアも図書館が中心となって結び付けてほしい。図書館を中心に横のつながりができれば情報交換ができる。</p> <p>図書館では毎年、養成講座を開催してくれている。受講した人たちが新規のボランティアとなっているが、現在、図書館のおはなし会は集客が少ない。新しいボランティアの活躍の場がないので、そういった機会を増やすためにも、図書館以外の場で読み聞かせができる環境を作ってもらいたい。</p> <p>家庭での読書習慣が大事だとわかっているけど忙しくて本を読む時間がないと感じている保護者も多い。その分、保育園や幼稚園、学校で読み聞かせをしてほしいという保護者もいると思う。そういった場所での読み聞かせの充実も図ってほしい。</p> <p>今回、保育園で働いている人へのアンケートも実施した。それを読んで感じたのは、図書館で待っているだけでなく、図書館の外へ出て、図書館の存在を知ってもらうことも大切だと感じた。図書館には素晴らしいボランティアの方がいるということも知ってもらいたい。ボランティアの派遣については、指定管理者と共に実現に向けて協議していきたい。</p>
事務局	
会長	<p>図書館のおはなしボランティアと、保育園、小学校、他機関を結</p>

	<p>ぶネットワークの構築は大事だし、ボランティアが活躍できる場をどう作るかも大きな課題だと考える。</p> <p>これは私が感じたことになるが、図書館では、子どもの読書だけに焦点を当てるのではなく、大人の読書機会を増やす工夫も考えなければならぬ。もっと広い視点で図書館が核となって読書推進活動計画を実施していく必要がある。指定管理者による事業報告の中には出てきたが、地域の書店との連携活動を行うなど、本のある場所全体、本好きな市民も含めて、官民全てで、市全体で読書環境をどう作っていくかを考えることが、今後は必要になるのではないかと。直ぐに計画することは難しいと思うが、どこか、それらしい要素を、この計画の中に入れてもらえるとよい。</p>
<p>会長</p>	<p>他に意見等ないので、議事(4)については以上とする。</p> <p>次の議事(5)その他については、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日の図書館運営協議会の結果については、議事録を作成し、ホームページで公開する。また、次回開催については、来年2月頃を予定している。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局の説明について意見や質問はあるか。</p> <p>特になければ、議事(5)については以上とする。</p> <p>本日の全ての議事が終了したので、進行を事務局にお返りする。</p>
<p>事務局</p>	<p>傍聴の方には、資料の回収にご協力いただく。</p> <p>以上で令和6年度第1回図書館運営協議会を閉会とする。</p> <p>議事終了</p> <p>閉会 午前11時57分</p>